

F 学習サポート

① 情報サービス

(1) 学内でのネットワークの利用

京都大学のネットワークシステムを KUINS (クインズ: Kyoto University Integrated information Network System) と呼んでいます。インターネットや電子メール等を使う場合に利用します。

KUINS を利用するには、研究室等に設置している情報コンセントを利用する方法と図書館等の学内の公共スペースに設置している学内 Wi-Fi 接続サービス (KUINS-Air) を利用する方法があります。学内 Wi-Fi 接続サービス (KUINS-Air) は ECS-ID により利用できます。

(2) 教育用コンピュータシステムの利用

教育用コンピュータシステムは、本学の学生・教職員が授業や自主学習のために利用できるシステムです。学術情報メディアセンター南館演習室と各学部のサテライト演習室、後述の ICT コモンズ等に PC 端末を配置しています。これらの PC 端末には各種ソフトウェアが導入されており、レポートの作成やプログラミングの学習、ウェブによる情報収集や電子メールによる情報交換が行えます。また、外国語会話の双方向での学習を支援する語学教育システム (CALL: Computer Assisted Language Learning) も組み込まれています。教育用コンピュータシステムの PC 端末環境を、ご自身の PC から接続して利用することもできます。

(3) ICT コモンズの利用

学術情報メディアセンター南館 1 階 ICT コモンズ、附属図書館 3 階オープンスペースラボラトリ (OSL)、吉田南図書館 2 階に上記教育用コンピュータシステムの PC 端末を設置しています。これらの PC 端末は、開室中は自由に利用できますので自学・自習に活用ください。また、上記 ICT コモンズには電源や学内 Wi-Fi 接続サービス (KUINS-Air) が利用できる BYOD (Bring Your Own Device) エリアもあり、持ち込み PC を使いながらグループ学習やディスカッションを行うことができます。(※学術情報メディアセンター 南館 1 階内の「ICT コモンズ」は、2020 年度より同館の「OSL」及び「ラーニングコモンズ」が改称されたものです)



ICT コモンズ

情報サービスをご利用いただくにあたって—情報セキュリティ e-Learning の受講—

京都大学の情報環境をご利用いただくにあたっては、日ごろから情報セキュリティ対策を万全に行うとともにルールを守っていただく必要があります。例えば、情報の著作権の尊重、ネットワークや計算機への適切な管理やアクセス、自分自身の情報を含めた個人情報の慎重な扱いとプライバシーの尊重、電子的なコミュニケーションで生じやすいトラブルの回避などです。京都大学の構成員には、情報サービスの安全で効果的な利用のために、情報セキュリティに関する e-Learning の受講が義務付けられています。ECS-ID を有効化したら、PC 端末からすぐに受講し、情報セキュリティや求められるルール・マナーを学び、適切な利用を心がけてください。

情報環境機構ホームページ

(学生アカウント (ECS-ID)、学生用メール (KUMOI)、ネットワークの利用などのご案内)

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp>



② 図書館

京都大学には、附属図書館や吉田南総合図書館をはじめ約 40 の図書館・図書室があります。それぞれの図書館では、学習のための快適な空間があり、学問分野に沿った図書や雑誌が利用できます。また、各図書館では、図書館の利用法から、レポート作成に必要な資料の集め方、課題の調べ方、論文・レポートの書き方まで、学習に関するさまざまな相談に応じています。(オンライン相談もできます。) 京都大学の図書館を皆さんの学習に大いに活用してください。

[図書館を利用するには]

- 図書館への入館や図書を借りる際には、学生証が必要です。
- 図書館オンラインサービス MyKULINE などの利用には、学生アカウント (ECS-ID) が必要です。

[資料を利用するには]

- 京都大学蔵書検索 KULINE で、資料がどの図書館にあり、貸出中かどうか等が調べられます。
- MyKULINE を使って、借りている図書の返却期限延長や、他の人が借りている図書に予約をかけることなどができます。

[図書館をさらに活用するには]

- 学習サポートデスクでは、大学院生スタッフが図書館利用や学習に関する相談に応じています。



ラーニング・commons
附属図書館にあり、グループワークや発表練習等、会話しながら学習できるスペースです。



学習サポートデスク
ラーニング・commonsにあり、平日 13 時から 19 時まで利用できます。



学習室 24
附属図書館にある 24 時間利用できる自習スペースです。



英語学習コーナー
吉田南総合図書館にあり、英語多読・速読のための図書、約 2,600 冊が利用できます。

図書館機構ホームページ

(利用案内・休館日情報・MyKULINE 等の各種サービスのご案内)

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



③ 総合博物館

総合博物館は、京都大学開学以来 120 年にわたり収集された、260 万点にも及ぶ学術標本資料を収蔵しています。これらを研究し、未来に伝えること、そして京都大学の教育・研究の成果を社会に発信することの二つが、総合博物館の重要な使命です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予約制とすることがあります。総合博物館 HP で確認してください。

開館時間	休館日	入館料
9:30 ~ 16:30 (入館は 16:00 まで)	月曜・火曜(平日・祝日にかかわらず)及び年末年始(12月28日~1月4日)、創立記念日(6月18日)、夏季一斉休業日(8月第3週の水曜日)	本学の学生は無料 (学生証の提示が必要)

■モノの研究ができる総合博物館

総合博物館の有する学術標本資料(モノ)には、文系では、国宝・重要文化財やそれに準ずる資料、理系では、生物・化石の学名の基準となる標本(タイプ標本)などが多数含まれ、国際的にも貴重なコレクションです。これらは、利用しやすい形で保管されていて、学内外の研究者が頻繁に活用しています。卒業論文や修士・博士論文のための研究にも利用することができます。

こうした資料をもとにした研究の成果を展示しているのが、常設展です。文化史系展示では、古文書・古記録といった歴史資料、京都市内の古地図、発掘調査や海外学術交流によってもたらされた土器や石器、金属製品など紹介されています。自然史系展示では、ナウマン象のタイプ標本をはじめ、芦生研究林やマレーシア熱帯雨林での研究成果などを展示しています。技術史系展示では、創設期の京都大学で使われた物理教育模型や機械メカニズム模型などを展示しています。



文化史系展示



自然史系展示



技術史系展示

2020年度は、春に予定していた2つの企画展がコロナ禍での臨時特別休館で秋開催に変更となりました。文化財発掘Ⅵでは、京都大学構内で出土した陶磁器、瓦や印刻した土器など、今年は土佐藩白川邸や京都帝国大学等に関わる遺物を紹介しました。CiRA展では、山中伸弥教授を中心としたiPS細胞研究所10年の歩みを紹介し、2012年ノーベル生理学・医学賞メダルのレプリカや再現実験室環境などを紹介しました。

このように、博物館では展示を通して京都大学における研究の成果や新しい発見をするとともに、展示をきっかけにした学際的な共同研究も生まれています。



文化財発掘Ⅵ展 展示資料



CiRA展「iPS細胞、軌跡(キセキ)と未来(ミライ)」

総合博物館ホームページ

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>



④ 研究資源アーカイブ

京都大学研究資源アーカイブ(KURRA)では、写真、映像や録音、フィールドノートや研究会の記録など、研究が生み出す多彩な資料を保存し、将来の教育や研究に活用していくために活動しています。その成果は、京都大学デジタルアーカイブシステム(愛称 Peek)と映像ステーション(Audio-Visual Station: AVS)で公開しています。Peekは、KURRAのアーカイブ資料の情報を閲覧・検索するためのオンラインサービスです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

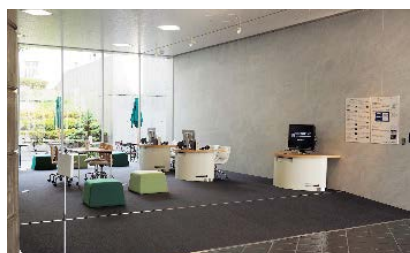
■映像ステーション(AVS)の利用について

AVSは、研究資源から作られた映像コンテンツ等を視聴・閲覧できる施設です。

- 施設所在 総合博物館1階、正面入口から向かって左、ミュージアムショップ手前にあります。
- 開館時間 総合博物館の開館時間に準じます。(利用条件は同じ)
- AVS 限定公開の資料を利用できます。Peek も利用できます。



Peek 研究者モードの利用には学生アカウント(ECS-ID)が必要です。



京都大学研究資源アーカイブホームページ

<http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>

